

C 「寺院梵鐘書上帳」(平野団三家文書…平野 宏氏所蔵)

安政二卯年十二月  
寺院梵鐘書上帳

小泉村

安政二年11月18日

覚

一本寺高田寺町本誓寺

當御預所

越後国頸城郡小泉村

浄土真宗 養性寺

同寺地中 性満寺

同寺末寺

同国同郡榎井新田 養宝寺

養性寺のあった小泉村は、現在の保倉地区にあった村です。本誓寺が本寺であったことが分かります。

一 梵鐘壺ツ 但

惣差渡式尺五寸式分

内法壺尺九寸

高サ三尺四寸五分

梵鐘の数は一つで、

差し渡しは約76cm、内側は約58cm、

高さは約103cmと報告しています。

右之通相違無御座候 以上

安政二卯年十二月

小泉村 養性寺 印

高田御預所 御役所

前書之通相違無御座候 依之奥書印形 仕奉差上候 以上

右村庄屋 幸右衛門 印

本資料は、幕府による「安政の梵鐘供出」政策を受けて、養性寺が預所(藩等に管理を任せた幕府領)であった小泉村を管理する高田藩に上げた報告書です。

保有する梵鐘の数、サイズ等を書き記し、村の庄屋が間違いの無いことを書き添えています。これは、養性寺や小泉村に限ったことではなく、各寺院や村々は、その対応に追われたことが想像できます。この後、実際に梵鐘を供出した寺院があったか否かは不明です。